



# まちづくり研究会ニュース

発行：JR芦屋駅南地区まちづくり研究会

平成 26 年 1 月

## まちづくりの“課題”を整理し、 まちづくりの“方向”、“方針”の案について 検討しました！

12月14日（土）午前10時30分より、上宮川文化センター3階大会議室において、第5回勉強会を開催しました。

当日は、18名（市3名・コンサルタント4名含む）の参加があり、まちづくりの課題を整理した後、市とコンサルタントから、まちづくりの方向と方針について説明、提案があった後、全体で意見交換を行い、検討を進めました。

また、この勉強会以降、まちづくり研究会の会員を対象として、市が意向調査を実施するという提案もありました。

### プログラム

- ・ 前回のふりかえり
- ・ 芦屋駅南地区のまちづくり課題
- ・ 芦屋駅南地区のまちづくりの方向（案）
- ・ 芦屋駅南地区のまちづくり方針（案）



勉強会の様子  
（掲示資料は次頁以降に記載）

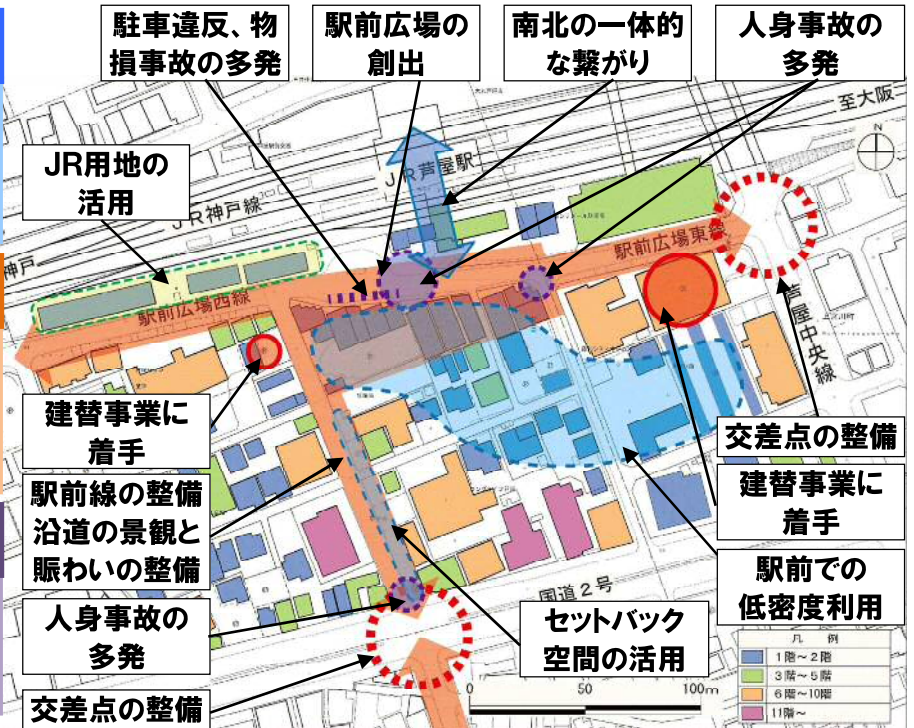


# 第5回勉強会の概要

勉強会資料として、次の3つの図面が配布され、これまでの勉強会で出された意見をまとめた「まちづくりの課題」、これらの課題を解決するための「まちづくりの方向（案）」と「まちづくりの方針（案）」について、説明・提案が行われた後、意見交換を行いました。

## ■芦屋駅南地区のまちづくり課題

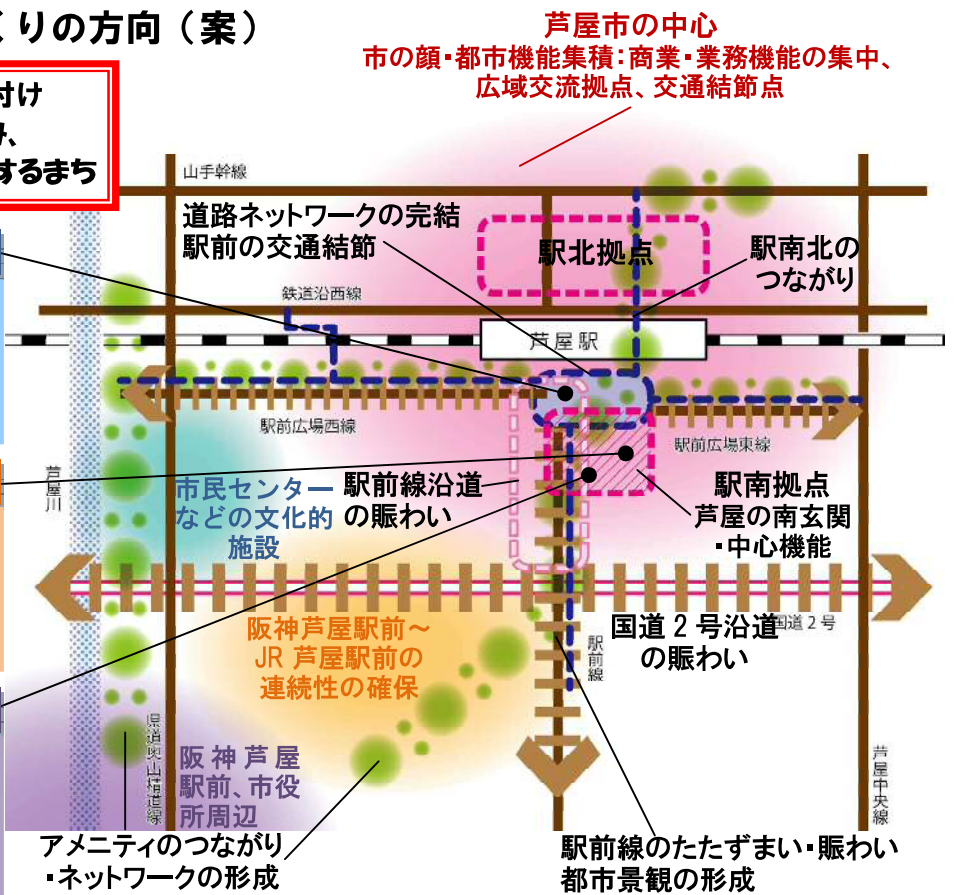
- 1 交通環境の再整備・強化**  
 (勉強会で出された意見)  
 ○駅前交通安全機能の充実が必要  
 ○駅前広場の車と人の流れを整理すべき
- 2 ゆとりある駅前拠点の形成**  
 (勉強会で出された意見)  
 ○周辺に堅固な建物ができて、駅前だけ取り残されている  
 ○駅前らしさが必要では
- 3 “芦屋らしさ”の創出**  
 (勉強会で出された意見)  
 ○街並みや景観に留意すべき  
 ○緑豊かな環境



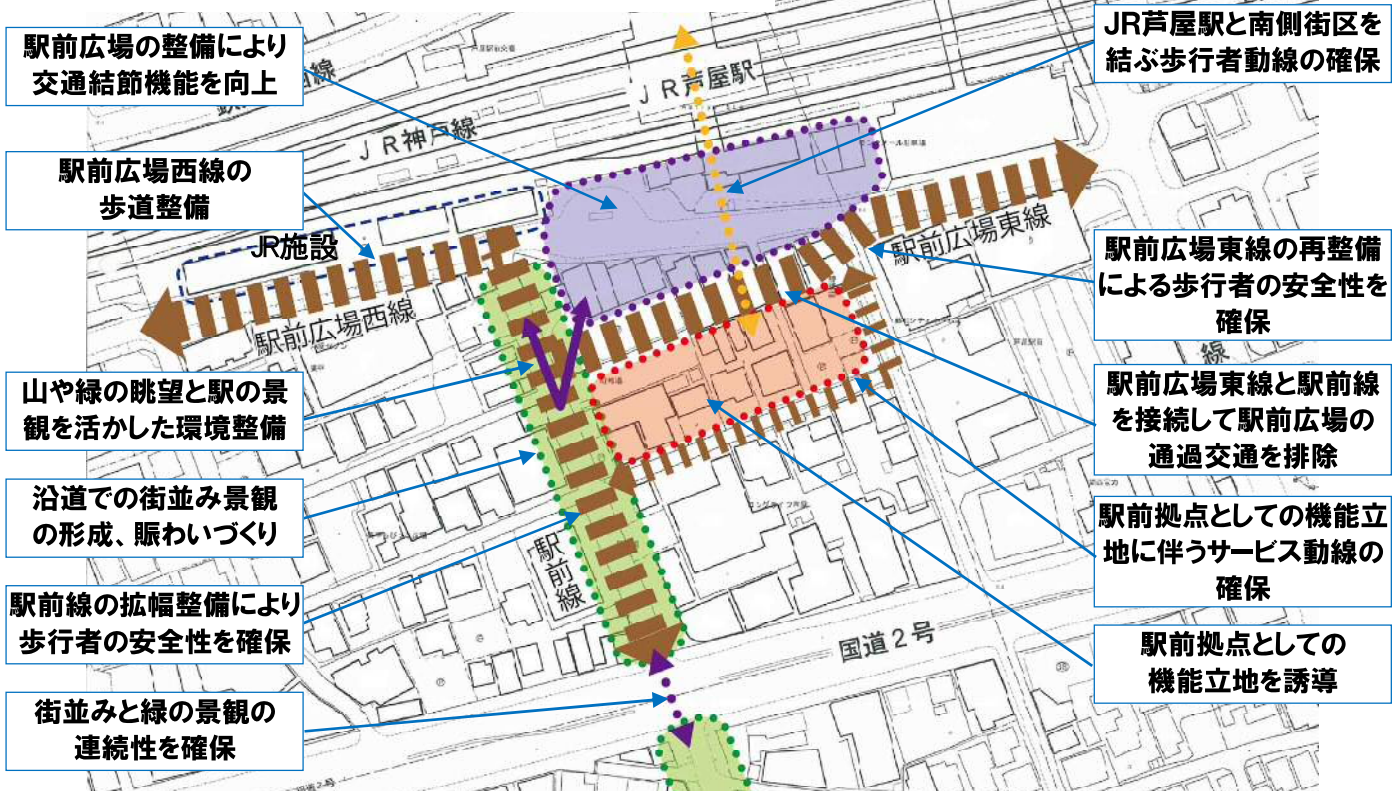
## ■芦屋駅南地区のまちづくりの方向（案）

■芦屋市総合計画などでの方向付け  
 自然とみどいの中で絆を育み、  
 “新しい暮らし文化”を創造・発信するまち

- ① 交通環境の再整備・強化**
  - 歩行者等の安全性確保（バリアフリー）
  - 駅南北の連携と交通結節機能の強化
- ② ゆとある駅前拠点の形成**
  - 「住宅都市・芦屋」の中心核にふさわしい顔づくり
  - 落ち着きとゆとりある生活環境づくり
- ③ “芦屋らしさ”の創出**
  - 快適で品格ある都市環境・景観形成（アメニティの創出）
  - 「芦屋らしい」地域アイデンティティの創出



## ■芦屋駅南地区のまちづくりの方針（案）



### 【参加者の主な意見】

#### ○駅南地区のまちづくりについて

##### <全体の考え方>

- ・大きい方向性は合意できたのでは。

##### <駅前広場について>

- ・南の玄関として理解できる。
- ・広場面積が足りないのは事実。広場面積の確保は必要。
- ・市の方針として“緑の地帯（グリーンベルト）”を作り、市民の考えを聞き、時間をかけて整備すればよい。全体が緑になったら20～30年後に改めて市が使い方を考えればよい。
- ・交通広場に周辺からの歩行者が入らないように駅前広場を重層化してはどうか。（1F 交通広場、2F グリーン・歩行者広場）

##### <エリアについて>

- ・駅直結のビルであれば値打ちがある。
- ・駅に面する場所が、一番値打ちがある。駅前広場（上図紫色）と機能立地導入エリア（上図赤色）を入れ替えて機能誘導してはどうか。
- ・機能立地を誘導する場所の住民は立ち退くのか。その後ビルを建てるのか。
- ・エリア東側の民間駐車場をエリアに入れる考え方もある。（コンサルタント）
- ・具体的にどうしていくかは、これから考えていかないといけない。
- ・住民意向を考慮し、内容を検討する必要がある。一方で、事業を行う場合は資金面も考える必要がある。立ち退きが前提の検討ではない。
- ・商業面では、広場と商業地の一体的案も考えられる。

##### <道路について>

- ・交通の安全性（歩行者）も大事。駅前広場西線、東線とも現状は狭い。
- ・鉄道沿いの道路が広がれば、駅前広場やサービス動線（上図右上から4つ目の四角囲み）も不要では。
- ・駅前広場東線を現在より南側に移動するこの計画案には無理があるのでは。

#### ○住民の意向

- ・住んでいる人の意見が大事だ。
- ・所有建物内に賃借人がいる場合は、やりとりが必要になるので、区域などははっきりしてほしい。
- ・芦屋で引き続き商売をしていきたい。
- ・今の形態で商売ができなければ、転出していくことも考えられる。
- ・商業環境の担保がなされるのが重要である。
- ・商売は考えていないが、住み続けたい。
- ・計画区域の中に含まれており反対である。（コンサルタント）
- ・居住や商売を継続していける形に、出来るだけ近づけていきたい。

#### ○まちのイメージ・機能

- ・駅前の環境が良くなるとまちの価値が上がる。
- ・建物が更新されていくと街並みも良くなる。
- ・「駅周辺」として必要な都市機能も考えないといけない。

#### ○芦屋らしさ

- ・“芦屋らしさ”の実現は本当に出来るのか
- ・駅を降りた時に「ここが芦屋」という姿にしたい。

裏面につづく

## 【参加者の主な意見】（続き）

### ○JR との協議等

- JR の敷地を一部だけでも使わせてもらっては。
- JR にも恩恵があるだろうから協力してもらおう。（市）
- 勉強会開催の前後に協議している。
- 皆さんからの意見や要望は伝えているが、結論は出ていない。

### ○今後の進め方

- JR が動かないのであれば、突きつける形でやらないといけない。JR との協議内容によっては結論が変わるのでは。
- 勉強会でまとめたものをどう扱うのか。市として議会に提出するとか、市長が動くなどしてほしい。
- 周辺の方でも興味・関心を持っている人もいる。国道 2 号沿いで「計画に入れて」という意見が出るかもしれない。
- 住民の意向を汲んだ計画にすること。今回は前回のようにならず事業を進めてほしい。
- 計画を実現していくために予算を確保することが必要では。（市）
- 勉強会での意見を基に一つ一つ固めながら検討し進めている。何らか案があって進めているわけではない。
- 意向調査の結果は次の勉強会で報告したい。

## 今後のスケジュール

市のほうで、まちづくり研究会の会員を対象にした意向調査が行われています。

以下に、今後のスケジュールを掲載します。整備基本方針案についてまとめる場をつくっていきたいと考えておりますので、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

なお、勉強会の開催場所は、上宮川文化センター3階大会議室です。

日程等	内容
12月16日～1月10日頃	意向調査（アンケート及び聞き取り）
2月1日（土）10時30分～	【第6回勉強会】：意向調査結果の概要報告
3月1日（土）10時30分～	【第7回勉強会】：整備基本方針案について
3月下旬	【第8回勉強会】：整備基本方針案のまとめ



**第6回勉強会の日程等は以下のとおりです。  
どうぞふるって、ご参加ください。**

**日時：平成26年2月1日（土）午前10時30分より**

**場所：上宮川文化センター 3階 大会議室**

**テーマ：意向調査結果の概要について**

**内容：年末年始にかけて実施した意向調査結果の概要をご報告する予定です。**

すでに調査させていただいた皆さま、お忙しいところご対応ありがとうございました。



### ■お問い合わせ先

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

（事務局） ☎659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市建設部都市整備課

☎ 0797-38-2074 FAX 0797-38-7974